

■主な事業の実績(つづき)

■研究活動

1. 文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択事業の推進
 - ①ハイテクリサーチセンター整備事業

2007年度採択の大学院歯学研究所「QOLの向上を目指した個体差口腔健康科学の創成」について、年次計画に基づき実施し、2011年度をもって終了しました。
 - ②学術フロンティア推進事業

2007年度採択の大学院看護福祉学研究所「認知症高齢者のトータルケアに関する学術的研究」について、年次計画に基づき実施し、2011年度をもって終了しました。
2. 外部資金の導入

研究活動を活性化し、科学研究費など競争的研究資金の導入に向け積極的に申請を行うとともに、寄付金や受託研究など外部資金の導入を積極的に図りました。
3. 教員研究費等の削減及び配付基準見直し

教員研究費基礎配付額の20%を削減し配付しました。また重点配分研究費として1,500万円を措置し競争原理の導入を図り実施しました。

■診療活動

1. 医療機関の収入状況等

大学病院では、前年度実績に比して延患者数が増加しましたが、調剤業務の院外処方への影響もあり、医療収入は減少となりました。また、歯科内科クリニックでは、延患者数、医療収入ともに前年度実績を下回りました。なお、大学病院における病床(24床)稼働率は、50.5%(2010年度:47.7%)でした。
2. 院外処方体制への切り替え

2011年8月より、大学病院の調剤業務については、院外処方へ切り替えを実施しました。
- 社会貢献・連携
 1. 北海道「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業」の選定事業の推進

2010年度選定の「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業(福祉・介護人材確保普及啓発事業)」について、年次計画に基づき実施しました。
 2. 公開講座

設定テーマに沿った開講や内容の充実等、一般向、卒業生・職能人向ともに本学の特色を生かした講座を実施しました。
 3. 高大連携

北海道札幌丘珠高等学校及び北海道有朋高等学校と高大連携に関する協定に基づく講義・実習をはじめとする事業を行いました。
 4. コミュニティバス事業

2006年度より、本学及び当別町を含む3団体の共同によるコミュニティバス(循環バス:当別町～札幌市北区あいの里)を運行しているが、学生・患者及び地域住民の利便性等を考慮し、2011年度も継続して参画しました。

5. 本学施設の地域への開放

- 前年度に引き続き、総合図書館、体育館など、本学の施設を地域住民に積極的に開放しました。
6. 地域住民への健康・医療情報の提供

前年度に引き続き、「わかりやすい健康情報講座」の開催、また、本学が所在する当別町に対し、「いのちの図書」の貸出等を行い、地域住民に対し、健康・医療情報の発信、また、臨床現場の医療従事者に対する医療情報提供サービスを実施しました。
 7. 東日本大震災に伴う被災地支援

東日本大震災の発生に伴い、関連省庁等からの要請に基づき被災地支援のため、3月21日から5月22日まで、様々な資格・専門知識を有する教員(延べ35名)を派遣しました。

■生涯学習

1. 薬剤師支援センター

2011年3月に、薬剤師認定制度認証機構より生涯研修認定制度認証機関として本学薬剤師支援センターが認証され、それに伴い同センター独自で認定が可能となりました。その制度に関する事業を中心として、医療現場との共同研究の推進及び連携事業を実施しました。
2. 認定看護師(CN)の養成

認定看護師は、日本看護協会が実施する認定看護師認定審査に合格し、ある特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者と定義づけられています。本学では、認定看護師研修センターにおいて、皮膚・排泄ケア、緩和ケア、がん化学療法科の3分野を開設し、その養成に努めました。

■国際交流

1. 国際交流

本学では、現在、大学間4大学(アルバータ大学・台北医学大学・中南大学・モナシオ大学)、学部間5大学(同済大学・ニューヨーク州立大学バップアロー校・青島大学・インドネシア大学・ストラスブル大学)と連携協定を締結し、教育及び学術における国際交流を推進しています。ストラスブル大学とは、短期留学生1名を2ヶ月間(9月～11月)の受け入れを実施しました。
2. 語学研修

2011年8月にアルバータ大学と、2012年3月にはモナシオ大学と語学研修を実施しました。(参加者21名)
- 広報活動

募集広報として、前年度に引き続き認知広報としてのテレビCM(北海道及び沖縄県)、ホームページの機能面の拡充、メールマガジンの定期発行及びオープンキャンパスの開催回数の増加などを実施しました。

2012年度入試においては、薬学部・看護福祉学部看護学科、心理科学部の募集定員の増、歯学部及び看護福祉学部臨床福祉学科の募集定員減、歯科衛生士専門学校でのAO方式入試早期特別枠の新設を行いました。

■経営管理

1. 人件費抑制策の実施

国家公務員の給与支給実態を参考として給与規程を改正し、2011年4月給与から適用しました。また、2009年4月よりポイント制人件費管理システムを導入し、人事管理を定数管理型から人件費管理型への改革を図ってきました。各部局の総ポイント(2012年4月1日)にて3%削減する事を目標としています。
- 施設設備関係
 1. 看護福祉学部棟外壁塗装工事

看護福祉学部講義・実習棟の外壁塗装工事を実施しました。
 2. 薬学部薬学教育支援室設置工事

薬学部棟3階調剤実習室を改修し、新たに薬学部薬学教育支援室の設置工事を実施しました。
 3. 看護福祉学部棟看護実習室改修工事

看護福祉学部棟5階看護実習室の拡張及び改修工事を実施しました。
 4. 学生支援課窓口等改修工事

学生の就職支援、窓口サービスに対応するため、学生支援課及び就職相談室の改修工事を実施しました。
- 「2020行動計画」の推進

1. 教育力向上

- 教育力向上プロジェクトにおいて示された事項について、継続して検討中です。なお、2012年度から全教員を対象として授業公開を実施する予定です。
2. 医療機関健全化

医療機関健全化プロジェクト答申に基づき実施案の具体的検討を策定し、実施しました。
 - ① 個体差医療科学センター改組実施検討委員会

同委員会において策定された改組案について、2011年4月に実施しました。
 - ② 医療機関一元化実施検討委員会

2011年9月開催の理事会にて基本事項(方針)が報告されました。
 3. 学部再編・新分野設置等

2011年12月開催の理事会において新学部(リハビリテーション科学部/理学療法学科、作業療法学科)の設置承認がされました。引き続き2013年4月開設に向けて準備を進めております。
 4. 経営管理

前述のとおり一部実施済であるが、引き続き、効率のかつ健全な経営に向け、諸方策を策定し、実施する予定です。
 5. 学生確保プロジェクト

学生確保プロジェクトにおいて示された事項について、継続して検討中です。なお、2012年度から入試アドバイザーを増員し、更なる広報強化に努めております。

学校法人 東日本学園

2012年度予算について

2012年度(平成24年度)当初予算は、3月22日開催の評議員会・理事会、予算の補正は、5月24日開催の評議員会・理事会で承認されましたので、その概要についてお知らせします。

2012年度予算の概要

概要

少子化進行に伴う18歳人口の減少に反し、私立大学の設置数は年々増え続けており、多くの私立大学にとって、学生の確保が大きな問題となっています。加えて、近年では国公立大学の法人化や大学設置認可制度の規制緩和に伴い、大学間の学生確保の環境はより一層厳しさを増しています。

日本私立学校振興・共済事業団によれば、2011年度は私立大学全体の39.0%にあたる223校が定員割れの状況にあります。学生数の減少は学生生徒納付金だけでなく、経営費補助金の減少にも影響し、学校経営に極めて深刻な影響を及ぼしています。

本学園の「パラダイムシフトによる新医療人育成の北の拠点づくり」を旗印とした「2020行動計画」は、今年で4年目を迎えました。安定した財源がなければ各種プロジェクトの実現は極めて困難ではありますが、教育理念に基づき、新たな事業展開として、少子高齢化を迎える時代に貢献する高度なリハビリテーション・スタッフの養成を目的とした「リハビリテーション科学部」を設置することとし、本格的にその準備に着手いたします。

【資金収支予算書】

収入に関しては、前年度予算比3億2,224万円減の88億8,994万円と見込んでいます。科目別には、学生生徒納付金収入、事業収入等の減収が

見込まれる半面、手数料収入、前受金収入の増収が見込まれます。

また、支出に関しては、前年度予算比22億9,404万円増の109億3,996万円と見込まれます。人件費支出は前年度予算比1億6,996万円の減、教育研究経費支出は前年度予算比782万円の増、管理経費支出は前年度予算比5,247万円の増です。施設関係支出は新学部(リハビリテーション科学部・理学療法学科・作業療法学科)の設置に係る中央講義棟の増築工事等の支出、また設備関係支出は学生の国家試験対策用教室の冷暖房設備の設置、テニスコートの改修工事等の支出を計上しています。次年度繰越支払金は53億5,736万円を見込んでいます。

【消費収支予算書】

帰属収入は前年度予算比3億7,745万円減の87億508万円を見込み、基本金組入額は20億4万円増を見込んでいることから、消費収入は前年度予算比29億7,749万円減の58億2,908万円になると見込まれます。

また、消費支出は前年度予算比9,462万円減の90億7,006万円を見込んでいます。

これらの結果、当年度消費支出超過額は32億4,098万円、帰属収入から消費支出を引いた帰属収支差額については、前年度予算比2億8,283万円減のマイナス3億6,498万円を見込んでいます。

資金収支予算書

【収入の部】				【支出の部】			
科目	2012年度予算	2011年度予算	増減	科目	2012年度予算	2011年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	5,869,330	6,138,405	△ 269,075	人件費支出	5,247,030	5,416,990	△ 169,960
手数料収入	84,000	80,636	3,364	教育研究経費支出	2,278,251	2,270,433	7,818
寄付金収入	28,000	28,000	0	管理経費支出	493,806	441,337	52,469
補助金収入	976,000	976,092	△ 92	施設関係支出	2,247,375	131,276	2,116,099
資産運用収入	76,000	76,001	△ 1	設備関係支出	658,934	269,689	389,245
事業収入	1,387,746	1,498,944	△ 111,198	その他の支出	600,567	702,687	△ 102,120
雑収入	259,000	259,452	△ 452	予備費	50,000	50,000	0
前受金収入	779,250	775,617	3,633				
その他の収入	485,209	581,359	△ 96,150				
資金収入調整勘定	△ 1,054,599	△ 1,202,331	147,732	資金支出調整勘定	△ 636,000	△ 636,489	489
計	8,889,936	9,212,175	△ 322,239	計	10,939,963	8,645,923	2,294,040
前年度繰越支払資金	7,407,382	6,510,004	897,378	次年度繰越支払資金	5,357,355	7,076,256	△ 1,718,901
収入の部合計	16,297,318	15,722,179	575,139	支出の部合計	16,297,318	15,722,179	575,139

消費収支予算書

【収入の部】				【支出の部】			
科目	2012年度予算	2011年度予算	増減	科目	2012年度予算	2011年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	5,869,330	6,138,405	△ 269,075	人件費	5,225,998	5,407,021	△ 181,023
手数料	84,000	80,636	3,364	教育研究経費	3,166,651	3,177,222	△ 10,571
寄付金	53,000	53,000	0	管理経費	607,406	510,436	96,970
補助金	976,000	976,092	△ 92	資産処分差額	20,000	20,000	0
資産運用収入	76,000	76,001	△ 1	予備費	50,000	50,000	0
事業収入	1,387,746	1,498,944	△ 111,198				
雑収入	259,000	259,452	△ 452				
帰属収入合計	8,705,076	9,082,530	△ 377,454	消費支出の部合計	9,070,055	9,164,679	△ 94,624
基本金組入額合計	△ 2,876,000	△ 275,965	△ 2,600,035	当年度消費支出超過額	3,240,979	358,114	
消費収入の部合計	5,829,076	8,806,565	△ 2,977,489	前年度繰越消費支出超過額	10,038,126	10,382,031	
				翌年度繰越消費支出超過額	13,279,105	10,740,145	

■主な事業計画

- 教育及び学生支援活動
 1. リハビリテーション科学部(理学療法学科・作業療法学科)の設置
 2. 大学院薬学研究科薬学専攻博士課程(新課程)の設置
 3. 国家試験対策の充実・支援
 4. キャリア支援環境の整備
 5. 「夢つなぎ入試」の実施
 6. 本学卒業生子女入学奨励制度の実施
 7. 「歯学部特待奨学生」制度の実施
 8. 東日本大震災被災地入学者に係る学納金等の免除の実施
 9. 初年度学納金の見直し
 10. 学生への経済的支援
- 研究活動
 1. 専門看護師(CNS)の養成
 2. 診療看護師(NP)の養成
 3. 外部資金の導入
 4. 教員研究費等の配付基準見直し
- 診療活動
 1. 医療機関の経営健全化
- 社会貢献・連携
 1. 北海道「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業」採択事業の推進
 2. 高大連携
 3. 公開講座
 4. コミュニティバス事業の参画
 5. 本学施設の地域への開放
 6. 地域住民への健康・医療情報の提供
- 生涯学習
 1. 薬剤師支援センターにおける認定薬剤師研修の実施
 2. 認定看護師の養成
- 国際交流
 1. 大学・学部間交流
 2. 語学研修の実施
- 経営管理
 1. 人件費の抑制
 2. 予算の効率的運用及び削減
 - 施設・設備
 1. 新学部設置計画に基づく、中央講義棟の増築工事及び設備の整備
 2. 歯科内科クリニック棟6階の改修工事
 3. 歯学部エレベーターの改修工事、学生用トイレ改修工事
 4. 換気排煙設備改修工事、機械室蒸気本管減圧弁取替工事
 5. 学生の国家試験対策用教室の冷暖房設備の設置、テニスコートの改修工事
 - その他
 1. 情報の積極的な公開
 2. 「2020行動計画」の推進